



岡崎市立六ツ美西部小学校 校長通信

校長室の窓から

～校訓 人に優しく 自分に強く～

6号

令和元年7月12日

六ツ美西部小学校長
山本 則夫

学区を愛し誇りに思う子供を育てたい

「子供たちが地域の伝統野菜に、こんなに興味を示してくれて本当にうれしいです。」

法性寺ねぎ研究会会長の八田政弘さんは目を細めます。

7月9日、3年生の総合的な学習（スーパーサイエンススクール）において、学区在住の八田政弘先生を講師にお招きし、「法性寺ねぎ栽培に挑戦！」というテーマで特別授業を行いました。法性寺ねぎの実物を手に、町名にもなっている法性寺ねぎの由来や、この地域が生育条件に適している理由などをお話いただきました。室町時代から今日まで法性寺ねぎの命を繋ぎ、その品質を守ってこられたお話はとても興味深いものでした。子供たちは、真剣にお話を聞き、メモをとり、授業の後半の質問タイムでは、子供たちからの質問が途絶えることはありませんでした。



「八田先生が法性寺ねぎを育てるときに大切にしていることは何ですか？」という質問に、先生は、「たくさんの人に安全においしく食べてもらうために、農薬の量や出荷のきまりをしっかりと守ること。」とお話しされました。

子供たちの教育は学校だけで完結するものではありません。変化の激しいこの時代にあっては、子供たちに対して、学校、保護者、地域が教育目標を共有して、子供の教育に取り組んでいく必要があると思います。私は、その目標の一つは、「六ツ美西部学区を愛し、誇りに思う子供たちの育成」であると思います。

今後も地域の「人・もの・こと」を最大限に有効活用し、授業を展開していきますので、ご理解・ご協力をお願いします。

電気・空気の秘密にせまる！ ～4年生 理科発展授業～

7月6日、4年生の理科授業（スーパーサイエンススクール）において、桜花学園大学講師の木村幸泰先生を講師にお招きし、発展実験授業を行いました。

静電気を体感する実験や巨大空気砲などのダイナミックな実験に子供たちは目を輝かせていました。



※7月の上記2つの授業の様子が東海愛知新聞（7/6, 7/10）にも掲載されています。